

## 農作業の共同化、機械の共同利用によるコスト削減

米を含めて地域農業の受け皿組織となるとともに、経営の高度化を促進。

【類型】 水稻 + 麦 + 大豆

【組織名】 宮ノ陣営農組合（平成9年4月設立）  
          <任意組織（特定農業団体と  
          同様の要件を満たす組織）>

【所在】 福岡県久留米市

【農業地域類型】 都市的地域

【構成農家戸数】 159戸



### 【経営規模】

水稻	120ha
麦	192ha
大豆	93ha

コンバインによる刈り取り風景

### 設立の経緯

- 米の生産調整に対応したブロックローテーションを実施し、高性能の機械を共同利用するなど農作物の生産コストの軽減を実現しながら効率的な営農を進めるため、任意組織を平成9年に設立。

### 取組の特徴・効果

- 4集落の農地面積の約9割を集積する久留米市内最大の集落営農組織。参加農家数も設立時から約1割増加し地域農業の中核と位置付け。
- ブロックローテーションに取り組むとともに、土地利用型作物の農作業受託を中心に規模拡大し、大型農業機械の共同利用によるコスト低減を実現。
- 権利設定を明確にするとともに社会保障制度の充実を図るため、オペレーター部会を法人化（(有)宮ノ陣オペレーターユニオン）。これにより、農作業の受け皿としての役割が明確化。
- 組織内には園芸や畜産の認定農業者も多く存在し、オペレーターや役員としての役割を發揮。